

地方独立行政法人新小山市民病院

令和6年度業務実績に関する評価

第3期中期目標期間業務実績に関する評価

全体評価

令和7年7月

小山市

年度評価の方法

市では、地方独立行政法人法(平成15年法律第118号)第28条第1項に定める業務実績に係る評価について、地方独立行政法人新小山市民病院評価委員会条例(平成24年条例第32号)第2条第1項第2号の規定に基づき、地方独立行政法人新小山市民病院評価委員会(以下「評価委員会」という。)に対し、地方独立行政法人新小山市民病院(以下「法人」という。)の令和6年度の業務実績に関する市長評価案について意見を求め、本稿の通り評価結果として集約を行った。

なお、評価を行うにあたっては、「地方独立行政法人新小山市民病院に対する評価の基本方針」(令和元年7月3日評価委員会にて決定)並びに「地方独立行政法人新小山市民病院の年度評価実施要領」「地方独立行政法人新小山市民病院の中期目標期間評価実施要領」(令和元年10月16日評価委員会にて決定)に基づき「項目別評価」と「全体評価」により評価を行った。

具体的に「項目別評価」は、小項目ごとの法人による自己評価をもとに、自己評価の妥当性や年度計画に照らし合わせた進捗状況を確認し、小項目の評価の平均値をもとに大項目評価を行った。

「全体評価」では、項目別評価の結果を踏まえ、中期目標・中期計画の進捗状況等を考慮し、総合的な評価を行った。

令和6年度業務実績及び第3期中期目標期間業務実績に関する全体評価

1. 令和6年度業務実績に関する全体評価

令和6年度の業務実績に関する小項目評価を行った結果、4つの大項目のうち「第1 住民に対して提供するサービスその他の業務の質の向上に関する事項」「第2 業務運営の改善及び効率化に関する事項」の2つの評価は、A評価（計画を上回って進んでいる）が妥当であると、「第3 財務内容の改善に関する事項」「第4 その他業務運営に関する事項」の評価は、B評価（計画どおり進んでいる）が妥当であると判断した。

令和6年度は、第3期中期目標期間の最終年度でありましたが、すべての医療機関にとって、経営環境が極めて厳しい年となりました。人件費、物価高騰の中、病院の収入源となる診療報酬改定は2022年よりほぼ据え置きという外的環境の影響により、地方独立行政法人化以降、初めての赤字決算となりました。

しかし、病院事業の実績としては、24時間365日の救急患者の受入や高度急性期医療の提供、地域の医療機関との連携による高い紹介・逆紹介率など、公的病院の責務を果たすため、全職員がワンチームとなり尽力いただいた。また、小山市民・近隣住民にとって、信頼できる地域の中核病院として、患者の命と生活の質を維持向上させるための医療を提供いただいた。

大項目第1「住民に対して提供するサービスその他の業務の質の向上に関する事項」では、アフターコロナで必要な医療供給体制を意識し、地域住民の求める医療需要に対し医療資源を最大限に活用することにより、急性期病院の診療機能の指標となるDPC機能評価係数Ⅱについて、県内2位のランクに評価されました。救急医療の取組としては、持続可能な救急医療提供のため、不適切な救急車利用の抑制を目的に、緊急性のなかった患者に対し時間外選定療養費の徴収を開始しました。がん、脳卒中、急性心疾患について、県内屈指の対応件数を維持するとともに、脳卒中患者の疾病罹患後について、リハビリテーションの取り組みに加え、就労両立支援コーディネーターを配置し、患者の生活の質を向上させる取り組みを行っている点、小児二次救急医療体制を確立している他に、地域災害拠点病院の指定を受け、DMAT養成研修の受講により19名体制となり、関東ブロック訓練への参加や合同訓練の実施、感染症認定看護師資格取得者の増員、予防医療の充実に関して、内視鏡検査医師の増員により受診者のニーズに対応しており、さらにパーソナルヘルスレコードの導入により、利便性の向上と業務の効率化・ペーパーレス化の推進がされたことを評価する。

医療提供体制の充実のための取組としては、基幹型臨床研修病院として3年目を迎え、初期臨床研修医を含む医師が84名となり、昨年度より6名増員となったこと、看護師

についても、認定看護管理者教育課程修了者の増加など人材育成に取り組んでいることを評価する。

患者・住民の満足度の向上については、患者支援センターが中心となり、入院・外来患者のみならず、多職種による多方面からの支援相談体制を充実させ、患者や家族が安心して療養生活ができる相談体制が整えられている点、また「小山市近郊地域医療連携協議会」を定期的開催し、地域の医療機関との連携体制を構築し、目標を超える紹介率・逆紹介率を達成、地域医療支援病院としての役割を果たしていることを高く評価する。

これらのことを踏まえ、大項目評価は、A評価（計画を上回って進んでいる）が妥当であると判断したものである。

次に、第2の「業務運営の改善及び効率化に関する事項」についての特筆すべき点は、組織マネジメントの強化として、目標の共有化とBSCによる行動目標作成と実績管理が定着し、自主的な業務への取組姿勢が組織に浸透している点や、人事評価実施にあたり、評価者の資質向上と評価基準の統一化及び、勤勉手当への結果反映が行われた点等を評価し、大項目評価は、A評価（計画を上回って進んでいる）が妥当であると判断したものである。

次に、第3の「財務内容の改善に関する事項」については、物価高騰や人手不足による人件費上昇等の中、経営基盤の維持・強化に取り組んでいること、医薬材料費が高騰している中、医療の質を高め、入院・外来とも患者単価が増加し、材料費率が維持されたことを高く評価し、大項目評価は、B評価（おおむね計画どおりに進んでいる）が妥当であると判断したものである。

2. 第3期中期目標期間業務実績に関する全体評価

中期計画の第2から第4の大項目の市長評価について、10の中項目のうち「地域に密着した急性期病院として良質で安全な医療の提供」「地域医療支援病院としての機能強化」「法令等の遵守と個人情報保護・開示の推進」「経営基盤の維持と経営機能の安定化」「高度医療機器の計画的な更新・整備」の5項目がA評価（計画どおり進んでいる）、「医療提供体制の充実」「患者・住民の満足度の向上」「組織マネジメントの強化」「働きやすい病院づくり」「収益の確保と費用の節減」の5項目がB評価（おおむね計画どおりに進んでいる）が妥当であると判断した。

また、第5その他業務運営に関する重要事項を達成するために取るべき措置についてはB評価（おおむね計画どおりに進んでいる）が妥当であると判断した。

第3期中期目標期間（令和3年度から令和6年度）の4年間は、新型コロナウイルス感染症の影響により、感染症対策を講じながら通常診療を継続させる難しい運営期間となった、そのような状況でありながらも、過去の連続黒字による経営の安定や「断らない救急」を掲げ、24時間365日救急体制を確立する等の救急医療の積極的取組の他、地域医療支援病院の指定を受け、紹介率・逆紹介率の向上や、小山市近郊医療連携協議会の発足、高度医療と災害医療の取組としてDMATの配置と、災害拠点病院の指定を受け、新型コロナウイルス感染症対応における重点医療機関としての協力が認められ、令和4年に全国自治体立優良病院両会長賞を、翌令和5年には全国自治体立優良病院総務大臣賞を受賞した。

これは、地方独立行政法人となった平成25年以来、地域住民のために、近隣の大学病院や地域の医療機関との連携を行いながら、地域の中核病院として地域住民の健康を守るための継続した取り組みが認められた結果である。

中期目標期間である令和3年度から令和6年度までは、各指標もほぼ順調に達成し、病院機能評価でのDPC機能評価係数Ⅱについては、令和2年度の4位から2位にランクアップしている。このような結果から、第3期中期目標期間に市が求めた「地域住民から求められる地域密着型の急性期病院」の責務を十分に遂行したものと高く評価する。

以上のことを踏まえ、全体評価については、

第3期中期目標・中期計画は順調に達成されたと評価した。

今後も、公立病院としての役割の発揮と責務の遂行を図ることを期待する。

今後の課題等について

第3期中期目標期間の最終年度であった令和6年度は、これまで一貫して右肩上がりで各種病院機能の地域指定を受け、名実ともに急性期地域中核病院としての土台が築かれた新小山市民病院において初の赤字決算となった。

しかし、令和6年度における医業収益、患者入院単価は過去最高の金額であり、令和7年4月より新たに常勤医を獲得した呼吸器外科・婦人科を含めた各診療科での手術・インターベーションの実施を増加させ、診療の活性化と病床稼働率の向上、さらなる診療単価の増額に取り組むと伺っている。

また、小山地区医師会等、関係機関と協力し、地域中核病院としての役割機能を十分発揮し、地域医療を牽引していただいたことについても、感謝と敬意を表したい。

今後は、地域より求められている診療科の開設に向けた別館建設や、周産期医療の体制整備、行政からの委託事業である「産後ケア事業」について、行政や関係機関との連携を強化し、住民ニーズを考慮した体制の構築に努めていただくことを期待する。

今後も地域の中核病院、二次医療圏の中心病院として、更には地域災害拠点病院として、地域医療機関等との連携を一層強化し、通常診療の質の向上とともに、有事の際にその機能を十分発揮できるよう、日頃から職員全員が安全・確実に医療活動ができるよう、より一層研鑽を積んでいただきたい。